

12月23日(水) 第2日目 A会場

8:15~9:15 モーニングセミナー

モーニングセミナー 1 蕁麻疹・アトピー性皮膚炎に対する薬物療法について

座長：秀 道広 (広島大学)

MS1-1 進化するアトピー性皮膚炎治療

常深祐一郎 (埼玉医科大学)

MS1-2 進化する蕁麻疹の病態解明と薬物療法

福永 淳 (神戸大学)

共催：田辺三菱製薬株式会社/帝國製薬株式会社

9:20~11:00 シンポジウム

シンポジウム 3 (スポンサード)

アトピー性皮膚炎の理解と新治療～基本治療から最新の治療まで～

座長：片山 一郎 (大阪大学名誉教授/大阪市立大学特任教授)

戸倉 新樹 (浜松医科大学細胞分子解剖学講座)

S3-1 アトピー性皮膚炎の歴史

西岡 清 (兵庫医科大学)

S3-2 サイトカインによるアトピー性皮膚炎制御

久保 允人 (東京理科大学生命医科学研究所/国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センターサイトカイン制御研究チーム)

S3-3 デュピルマブがもたらした福音～アトピー性皮膚炎患者が活躍できる社会を目指して～

矢上 晶子 (藤田医科大学総合アレルギー科/総合アレルギーセンター)

S3-4 サブタイプ分類から導く Dupilumab 最善のコストパフォーマンス

片岡 葉子 (大阪はびきの医療センター)

共催：サノフィ株式会社

11:10~12:50 シンポジウム

(皮膚科領域講習)

シンポジウム 4 炎症細胞のホットトピックス

座長：佐藤 貴浩 (防衛医科大学校)

加藤 則人 (京都府立医科大学)

S4-1 疾患特異的マクロファージの機能的多様性

佐藤 荘 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科免疫アレルギー学分野)

S4-2 pDCs と免疫疾患

佐藤 克明 (宮崎大学免疫学分野)

S4-3 何を今さら好酸球？

佐藤 貴浩 (防衛医科大学校)

S4-4 皮膚アレルギー炎症における好塩基球の役割

烏山 一 (東京医科歯科大学炎症・感染・免疫研究室)

13:00~14:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 1 乾癬治療のアップデート

座長：島田 眞路 (山梨大学)

LS1-1 Psoriasis personalized medicine via multi-platform 'omics

Kevin D. Cooper (Department of Dermatology, Case Western Reserve University and University Hospitals Cleveland Medical Center, USA)

LS1-2 炎症性疾患としての乾癬：疾患概念の変遷と生物学的製剤の意義

朝比奈昭彦 (東京慈恵会医科大学)

共催：サンファーマ株式会社

14:10~16:10 シンポジウム

シンポジウム 5 関節・腸管の免疫病

座長：仲 哲治 (高知大学医学部附属病院免疫難病センター)

佐野 栄紀 (高知大学)

S5-1 バイオ製剤の作用機序と免疫疾患

藤本 穰 (高知大学臨床免疫学)

S5-2 腸内細菌情報を受信する Liver-brain-gut 神経反射は腸管内制御性 T 細胞を調整する

金井 隆典 (慶應義塾大学医学部消化器内科)

S5-3 オミックス解析から分子レベルで考察する免疫疾患

竹内 勤 (慶應義塾大学リウマチ・膠原病内科)

16:20~17:40 特別緊急シンポジウム

(皮膚科領域講習)

特別緊急シンポジウム 新型コロナの発疹，治療法とワクチン開発最前線

座長：佐野 栄紀 (高知大学)

玉井 克人 (大阪大学再生誘導医学)

SS1 COVID-19に伴う皮疹とそのメカニズムはどこまでわかったのか？

大塚 篤司 (京都大学)

- SS2 アクテムラによる治療成績, IL-6 とコロナ肺炎の病態
田中 敏郎 (大阪はびきの医療センター副院長)
- SS3 新型コロナウイルス感染症に対するワクチン開発の現状
森下 竜一 (大阪大学臨床遺伝子治療学)

17:45~19:00 シンポジウム

シンポジウム6 植物の免疫および昆虫寄生虫と森のエコロジー

座長：佐野 栄紀 (高知大学)

椋島 健治 (京都大学)

- S6-1 植物の雌しべが自種と異種, 自己と非自己の花粉を識別するしくみ
藤井 壮太 (東京大学大学院農学生命科学研究科)
- S6-2 植物の自己・非自己認識に基づく柔軟な応答
山尾 僚 (弘前大学農学生命科学部生物学科)
- S6-3 森と川をつなぐ細い糸：宿主操作の至近メカニズムから解き明かす生態系のエネルギー流
佐藤 拓哉 (神戸大学大学院理学研究科)

19:00~19:05

次期会長挨拶

12月23日(水) 第2日目 B会場

9:00~10:00 特別企画 令和の脈管膠原病研究会1 一般演題

血管炎1

座長：長谷川 稔 (福井大学)

神人 正寿 (和歌山県立医科大学)

- 025 子宮体癌が発症に関与したIgA 血管炎
森 直哉 (富山大学) ほか
- 026 当科におけるIgA 血管炎38例の臨床的検討—D-dimer 値に着目して—
鈴木 麻生 (横浜市立大学) ほか
- 027 IgG/IgM 血管炎およびIgA 血管炎の臨床的および組織学的相違について
川村 美保 (岐阜大学) ほか
- 028 シクロフォスファミドパルス療法が奏効したりウマトイド血管炎の2例
横山 恵美 (岡山大学) ほか
- 029 シェーグレン症候群と多発性骨髄腫を背景としたクリオグロブリン血症性血管炎の1例
笠松 宏至 (福井大学) ほか
- 030 ミノサイクリン塩酸塩投与後に生じた薬剤誘発性血管炎の1例
内田 千恵 (都立墨東病院) ほか

10:05~11:05 特別企画 令和の脈管膠原病研究会1 一般演題

血管炎2

座長：川上 民裕 (東北医科薬科大学)

山口 由衣 (横浜市立大学)

- 031 演題取り下げ
- 032 当教室で経験したベーチェット病に伴う皮膚血管炎の7例
平岩 朋子 (福島県立医科大学) ほか
- 033 皮膚限局性多発血管炎性肉芽腫症を疑った1例
山本美友貴 (福島県立医科大学) ほか
- 034 多発血管炎性肉芽腫症 (GPA) の2例
中島 里穂 (高知大学) ほか
- 035 深部静脈血栓症を合併した両下腿の多発性浅在性血栓性静脈炎の1例
高田 洋子 (公益財団法人日本生命済生会日本生命病院) ほか
- 036 アピキサバン単独療法が奏功したりベド血管症の1例
五十嵐由美 (日本医科大学多摩永山病院) ほか

11:10~12:10 特別企画 令和の脈管膠原病研究会 1 一般演題

血管炎 3

座長：小寺 雅也 (中京病院)

池田 高治 (東北医科薬科大学)

- 037 当科で経験した非小児の川崎病 4 例
坂井 博之 (市立旭川病院) ほか
- 038 演題取り下げ
- 163 全身性強皮症を合併した Juvenile temporal arteritis with eosinophilia の 1 例
則川 菜摘 (福島県立医科大学) ほか
- 039 Cutaneous arteriolitis (皮膚細動脈炎)：新たな皮膚血管炎の提唱
山本 俊幸 (福島県立医科大学) ほか
- 040 当科で経験した血管肉腫 4 例の検討
木戸 一成 (高知大学) ほか
- 041 血管肉腫との鑑別が困難であった、左顔面の癌性リンパ管症の 1 例
高澤 摩耶 (自治医科大学附属さいたま医療センター) ほか

12:15~12:45 特別企画 令和の脈管膠原病研究会 1

座長：中島 英貴 (高知大学)

- SP1 リベドイド血管症/炎の考え方：診断と治療
陳 科榮 (目黒陳皮膚科クリニック 東京都品川区)

13:00~14:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 2 膠原病の治療、血管炎診断の最前線

座長：新井 達 (聖路加国際病院)

- LS2-1 膠原病治療とヒドロキシクロロキン
谷川 瑛子 (慶應義塾大学)
- LS2-2 血管炎・血管障害の画像診断 up to date
沢田 泰之 (東京都立墨東病院)

共催：サノフィ株式会社

14:10～14:40 特別企画 令和の脈管膠原病研究会 2

座長：片山 一郎（大阪大学名誉教授/大阪市立大学特任教授）

SP2 HLA による新たな膠原病発症機構

荒瀬 尚（大阪大学免疫学フロンティア研究センター免疫化学研究室/
大阪大学微生物病研究所免疫化学分野）

14:45～15:55 特別企画 令和の脈管膠原病研究会 2 一般演題

膠原病 1

座長：濱口 儒人（金沢大学）

茂木精一郎（群馬大学）

042 門脈圧亢進症を合併した全身性強皮症の1例

榊原 萌（東京大学）ほか

043 全身性強皮症の下部消化管症状に対する免疫グロブリン静注療法 有効性の検討

久田 智子（独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院）ほか

044 手指壊疽を伴いモルフェアを合併した抗セントリオール抗体陽性 LcSSc の1例

乙竹 泰（横浜市立大学）ほか

045 肺腺癌の放射線治療後に生じた post-irradiation morphea の1例

木村 春奈（新潟大学）ほか

046 限局性強皮症と Parry-Romberg 症候群の合併と考えた1例

加納 宏行（岐阜市民病院）ほか

047 当科における限局性強皮症 20 例の検討

渡邊 友也（横浜市立大学皮膚科）ほか

048 琉球大皮膚科の全身性強皮症のまとめ

宮城 拓也（琉球大学）ほか

16:00～16:30 特別企画 令和の脈管膠原病研究会 2

尹浩信先生メモリアルレクチャー

座長：佐藤 伸一（東京大学）

SP3 Molecular mechanism of fibrosis～尹浩信先生の基礎研究を振り返る～

浅野 善英（東京大学）

16:35～17:35 特別企画 令和の脈管膠原病研究会2 一般演題

膠原病2

座長：衛藤 光（聖路加国際病院）

古川 福実（高槻赤十字病院）

- 049 全身性強皮症，皮膚筋炎，全身性エリテマトーデスのオーバーラップ症候群
齋藤晋太郎（群馬大学）ほか
- 050 ヒドロキシクロロキンが環状連圈状型紅斑に有効であった全身性エリテマトーデスの1例
下田由莉江（杏林大学）ほか
- 051 当院でベリムマブを投与した全身性エリテマトーデス2例の使用経験
奥澤 愛美（聖路加国際病院）ほか
- 052 小児SLE患者に生じたLE profundusの1例
伊藤 崇（福島県立医科大学）ほか
- 053 当科において経験したulcerative lupus erythematosus profundusの3例
花見 由華（福島県立医科大学）ほか
- 054 下腿潰瘍から診断に至った抗リン脂質抗体症候群の1例
高橋 一夫（東北医科薬科大学）ほか

12月23日(水) 第2日目 C会場

8:15~9:15 モーニングセミナー

モーニングセミナー 2 亜鉛と免疫

座長：中島喜美子 (高知大学)

MS2-1 ヒト疾患とモデルマウスから究明する亜鉛恒常性システムの重要性：皮膚器官系の新しい治療戦略の構築を目指して

深田 俊幸 (徳島文理大学病態分子薬理学)

MS2-2 亜鉛と皮膚免疫

川村 龍吉 (山梨大学)

共催：ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス

9:30~10:40 一般演題

食物アレルギー 1

座長：馬場 直子 (神奈川県立こども医療センター)

益田 浩司 (京都府立医科大学)

055 フキノトウによるアナフィラキシーを呈した2例

小中 美咲 (山梨大学) ほか

056 柿アレルギーの1例

荒田 健太 (京都府立医科大学) ほか

057 Gibberellin-regulated protein (GRP) の感作が確認された、モモ・イチジク摂取後にアナフィラキシー症状を繰り返した1症例

原田 晋 (はらだ皮膚科クリニック 兵庫県西宮市) ほか

058 演題取り下げ

059 幼児早期に感作が成立したと推測される LTP syndrome の3例

藤本 雷 (大阪はびきの医療センター) ほか

060 産後の一時的な小麦アレルギー

金本 麻裕 (広島大学) ほか

061 Gly m 4 が主要抗原と考えられた健康飲料、健康食品によるショックの3例

足立 厚子 (兵庫県立加古川医療センター) ほか

10:45~11:45 一般演題

食物アレルギー 2

座長：原田 晋 (はらだ皮膚科クリニック)

猪又 直子 (横浜市立大学)

- 062 臍帯血移植後に発症した牛乳アレルギーの1例
藤森なぎさ (住友病院) ほか
- 063 納豆アレルギーにおける新規抗原タンパク質の特定
佐藤 奈由 (藤田医科大学アレルギー疾患対策医療学/ホーユー (株) 総合研究所) ほか
- 064 グミに含有されたゼラチンアレルギーの1例
船積 雅登 (東京医科歯科大学) ほか
- 065 エビ特異的 IgE (CAP-16) 陰性でプリックテストによってアナフィラキシー症状が誘発されたエビアレルギーの一例
大黒 督子 (高知大学) ほか
- 066 漁師に生じたクラゲ摂食によるアナフィラキシーの1例
白井 洋彦 (大阪はびきの医療センター) ほか
- 067 ネコ以外の多種の動物飼育が感作に関与し、アナフィラキシーショックに至った pork-cat syndrome の1例
澤田 郁 (横浜市立大学) ほか

13:00~14:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー 3 アトピー性皮膚炎の病態と治療を再考する

座長：相場 節也 (東北大学)

- LS3-1 アトピー性皮膚炎の病態における OVOL1 の役割
辻 学 (九州大学/九州大学病院油症ダイオキシン診療センター)
- LS3-2 アトピー性皮膚炎治療におけるデルゴシチニブ軟膏のポジショニング
佐藤 伸一 (東京大学)

共催：鳥居薬品株式会社

14:10~15:10 一般演題

アトピー性皮膚炎 3

座長：片桐 一元 (獨協医科大学埼玉医療センター)

布袋 祐子 (荻窪病院)

- 068 抗IL-17受容体A抗体製剤使用中にIgE高値と好酸球増多と共にアトピー性皮膚炎様皮疹を生じた尋常性乾癬の1例
杉浦利一郎 (東北大学/防衛医科大学校) ほか
- 069 皮膚科医師に対するアトピー性皮膚炎の診療実態調査
金子 栄 (島根大学医学部) ほか
- 070 リアルワールドデータを活用したアトピー性皮膚炎の罹患部位と薬剤選択に関する観察研究
出宮スウェン (IQVIA ソリューションズジャパン株式会社) ほか
- 071 レセプトデータベースを用いたアトピー性皮膚炎診療実態に関する経時的な調査
今福 信一 (福岡大学) ほか
- 072 成人アトピー性皮膚炎に対するDupilumabの長期非盲検試験：3年間の有効性解析
藤田 浩之 (サノフィ) ほか
- 073 アトピー性皮膚炎に対するDupilumab臨床試験の併合解析：紅皮症型アトピー性皮膚炎の症状への影響
江藤 隆史 (東京通信病院) ほか

15:15~16:15 一般演題

アトピー性皮膚炎 4

座長：菅谷 誠 (国際医療福祉大学)

峠岡 理沙 (京都府立医科大学)

- 074 デュピルマブ投与中に著明な好酸球増多と皮膚症状の増悪がみられ中止に至った1例と、当科で投与した26例の経過中の好酸球推移の検討
松倉 節子 (済生会横浜市南部病院) ほか
- 075 演題取り下げ
- 076 当院におけるアトピー性皮膚炎に対するデュピルマブ使用症例の解析
吉原 渚 (順天堂大学) ほか
- 077 アトピー性皮膚炎患者に対するデュピルマブ治療において自己注射導入がアドヒアランスへ及ぼす影響についての検討
伊藤 誠時 (帝京大学) ほか

- 078 デュピルマブ早期治療反応例 (Rapid responder) からみるアトピー性皮膚炎の臨床病型分類の検討
藤本 雷 (大阪はびきの医療センター) ほか
- 079 アトピー性皮膚炎に対する Dupilumab の第3相試験(CHRONOS) : POEM による有効性解析
有馬 和彦 (サノフィ) ほか

16:20~17:20 一般演題

アトピー性皮膚炎 5

座長：金子 栄 (益田赤十字病院)
松岡 悠美 (大阪大学)

- 080 アトピー性皮膚炎の診断でデュピルマブを投与されたセザリール症候群の1例
梅本 尚可 (自治医科大学附属さいたま医療センター) ほか
- 081 アトピー性皮膚炎合併円形脱毛症患者におけるデュピルマブ投与中の臨床経過の検討
福山 雅大 (杏林大学) ほか
- 082 アトピー性皮膚炎の酒さ様皮膚炎合併難治性顔面紅斑に対する検討
野老 翔雲 (東京医科歯科大学) ほか
- 083 デュピルマブ投与にて遷延する顔面紅斑の病理組織学的検討
久保田由美子 (福岡山王病院)
- 084 Dupilumab による結膜炎の発症予測因子についての検討
内田 秀昭 (帝京大学) ほか
- 085 当科におけるデュピルマブによるアトピー性皮膚炎治療例のまとめ
高橋 隼也 (東北大学) ほか

17:45~18:45 イブニングセミナー

イブニングセミナー 4 「痒み」「保湿」

座長：清島真理子 (岐阜大学)
中村 元信 (産業医科大学)

- ES4-1 痒みと保湿
加納 宏行 (岐阜市民病院)
- ES4-2 痒い疾患の指導に役立つもの
金子 栄 (益田赤十字病院)

共催：日本臓器製薬株式会社

12月23日(水) 第2日目 D会場

8:15~9:15 モーニングセミナー

モーニングセミナー 3 炎症性皮膚疾患治療最前線～乾癬と化膿性汗腺炎を中心に～

座長：大槻マミ太郎（自治医科大学）

MS3-1 乾癬性関節炎の早期診断と治療に必要な院内連携への取り組み～大学病院編～

橋本 由起（東邦大学）

MS3-2 化膿性汗腺炎の最新治療戦略

前川 武雄（自治医科大学）

共催：エーザイ株式会社/アッヴィ合同会社

9:30~10:20 一般演題

金属アレルギー

座長：澄川 靖之（札幌医科大学）

井川 健（獨協医科大学）

086 演題取り下げ

087 演題取り下げ

088 扁平苔癬, Burning mouth syndrome, 口唇炎における歯科金属除去の有効性の検討

勝海 洸司（新潟大学）ほか

089 チタンアレルギーモデルマウスの作製と免疫担当細胞の病理組織学的検討

細木 真紀（徳島大学顎機能咬合再建学）ほか

090 工業用セメントによる全身性接触皮膚炎の一例

菅 裕司（札幌医科大学）ほか

10:25~11:35 一般演題

蕁麻疹 1

座長：天野 博雄（岩手医科大学）

藤田 英樹（日本大学）

091 ヒト精漿アレルギー（Human seminal plasma allergy）の1例

欠田 成人（済生会松阪総合病院）ほか

- 092 全身麻酔導入後にセフメタゾールナトリウムによりアナフィラキシーショックが生じた1例
安田 綾子 (横浜市立大学) ほか
- 093 アセトアミノフェンによるアナフィラキシーの1例
山筋 好子 (鹿児島大学) ほか
- 094 演題取り下げ
- 095 検鏡にてダニ虫体を認めず, ELISA 法でダニ抗原の混入を証明できた oral mite anaphylaxis の1例
松本由佳理 (西宮市立中央病院) ほか
- 096 当科における過去5年間の抗菌薬による即時型アレルギーの検査結果における検討
水野 雄斗 (横浜市立大学) ほか
- 097 皮膚疾患患者に対するルパタジンフマル酸塩の原疾患重症度別の安全性及び有効性: 使用成績調査の中間集計結果-3
堀川 靖 (帝國製薬株式会社安全管理室) ほか

11:40~12:50 一般演題

蕁麻疹 2

座長: 谷崎 英昭 (関西医科大学)

青木奈津子 (高知大学)

- 098 斑状丘疹状肥満細胞症と肥満細胞腫の2病型を併発した4ヶ月男児例
伊藤 友章 (東京医科大学) ほか
- 099 乳児期発症のびまん性皮膚肥満細胞症の長期観察例
柴田 夕夏 (東京慈恵会医科大学) ほか
- 100 11歳時よりコリン性蕁麻疹を繰り返した特発性後天性全身性無汗症の一例
佐藤 良樹 (埼玉医科大学総合医療センター) ほか
- 101 汗アレルギー型コリン性蕁麻疹によるアナフィラキシーショック
杉野 仁美 (産業医科大学) ほか
- 102 卵巣癌加療中に併発した慢性特発性蕁麻疹に対し抗IgE抗体療法が奏功した1例
葉山 惟大 (日本大学) ほか
- 103 慢性特発性蕁麻疹を対象としたリゲリズマブ国際共同第II相試験
福永 淳 (神戸大学) ほか

104 過去3年間に当科でエピペン®を処方した成人288例の検討

矢上 晶子 (藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科/藤田医科大学
総合アレルギーセンター) ほか

13:00~14:00 ランチョンセミナー

**ランチョンセミナー4 パッチテストを活かす!~もしかして?と思う
力~**

座長: 横関 博雄 (東京医科歯科大学)

LS4-1 接触皮膚炎診療ガイドライン改訂のポイント

高山かおる (済生会川口総合病院)

LS4-2 謎解きの最終段階 —パッチテスト判定と患者指導—

渡部 裕子 (わたなべ皮膚科形成外科 愛媛県松山市)

共催: 佐藤製薬株式会社

14:10~15:20 一般演題

接触皮膚炎1

座長: 名嘉眞武国 (久留米大学)

鈴木加余子 (藤田医科大学総合アレルギーセンター)

011 美白化粧水に含まれるアルブチンによる接触皮膚炎の1例

牛田真奈加 (京都府立医科大学) ほか

012 製品容器とは異なる化粧水が原因製品であったアルブチンによる接触皮膚炎の
一例

二村 恭子 (藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科) ほか

013 システアミン塩酸塩による接触皮膚炎の1例

杉浦真理子 (第一クリニック皮膚科・アレルギー科 愛知県名古屋市)
ほか

014 コカミドプロピルベタイン含有試薬によるパッチテスト陽性例の検討

飯島 茂子 (はなみずきクリニック 茨城県牛久市/龍ヶ崎済生会病院)
ほか

015 演題取り下げ

016 Japanese baseline series (JBS2015) の2019年度陽性率

関東 裕美 (東邦大学医療センター大森病院/日本接触皮膚炎研究班) ほか

017 SSCI-Net2019年度アレルギー性皮膚障害例のまとめ

松永佳世子 (藤田医科大学アレルギー疾患対策医療学) ほか

15:25～16:35 一般演題

接触皮膚炎 2

座長：高橋 健造 (琉球大学)

山田 秀和 (近畿大学奈良病院)

- 018 アトピー性皮膚炎に合併したラノリンと硫酸フラジオマイシンによる接触性皮膚炎の1例
田尻真貴子 (久留米大学) ほか
- 019 リドカイン塩酸塩含有外用剤による接触皮膚炎の1例
竹内 千尋 (兵庫県立加古川医療センター) ほか
- 020 オラネキシジングルコン酸塩消毒液による接触皮膚炎の1例
青木奈津子 (高知大学) ほか
- 021 デーマボンド®アドバンスドによる接触皮膚炎の1例
山口文太郎 (昭和大学) ほか
- 022 CPAP (持続用圧呼吸療法) のマスクベルトによる接触皮膚炎の一例
定本真梨子 (東邦大学医療センター大森病院) ほか
- 023 エポキシ樹脂による職業性接触皮膚炎
平井 由花 (昭和大学藤が丘病院) ほか
- 024 使い捨て紙ナプキンによる接触皮膚炎の1例
鈴木加余子 (藤田医科大学ばんだね病院総合アレルギー科) ほか

17:45～18:45 イブニングセミナー

イブニングセミナー 5 アトピー性皮膚炎・蕁麻疹とかゆみ

座長：中原 剛士 (九州大学)

- ES5-1 蕁麻疹と抗ヒスタミン薬
平郡 隆明 (ひらぐん皮ふ科・アレルギー科 広島県広島市)
- ES5-2 アトピー性皮膚炎と痒み
竹中 基 (長崎大学)

共催：科研製薬株式会社

12月23日(水) 第2日目 E会場

10:25~11:15 一般演題

薬疹 1

座長：阿部理一郎（新潟大学）

宮川 史（奈良県立医科大学）

- 105 テガフル・ギメラシル・オテラシルカリウム（TS-1[®]）内服中に生じた急性汎発性発疹性膿疱症の1例
小松 貴義（京都大学/天理よろづ相談所病院）ほか
- 106 スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウムによる Acute Generalized Exanthematous Pustulosis（AGEP）の1例
後藤 範子（市立豊中病院）ほか
- 107 フェキソフェナジン塩酸塩・塩酸プソイドエフェドリン配合剤錠（FEX/PSE）による急性汎発性発疹性膿疱症
楠谷 尚（大阪市立総合医療センター）ほか
- 108 非イオン性ヨード造影剤が原因と考えられた急性汎発性発疹性膿疱症の1例
野見山留衣（久留米大学）ほか
- 109 Hydroxychloroquine 投与を契機に膿疱性乾癬を発症した SLE の1例
翠川 央高（信州大学）ほか

11:20~12:20 一般演題

薬疹 2

座長：渡辺 大輔（愛知医科大学）

藤山 俊晴（浜松医科大学）

- 110 自己免疫性水疱症と鑑別を要した中毒性表皮壊死症の1例
前川 亜耶（大阪大学）ほか
- 111 薬剤性過敏症症候群（DIHS）から中毒性表皮壊死症（TEN）へ進展しニューモシスチス肺炎を発症した1例
武居 慎吾（新潟大学）ほか
- 112 血球貪食症候群に合併した中毒性表皮壊死症の一例
江藤 綾桂（九州大学）ほか
- 113 Acute Respiratory Distress Syndrome の再燃により死亡した中毒性表皮壊死症の1例
石川 秀幸（横浜市立大学）ほか
- 114 Stevens-Johnson 症候群/中毒性表皮壊死症における抗 SS-A 抗体陽性例の検討
渡邊 裕子（横浜市立大学）ほか
- 115 長崎大学病院皮膚科・アレルギー科における重症薬疹の最近10年のまとめ
浅井 幸（長崎大学）ほか

13:00~14:00 ランチョンセミナー

ランチョンセミナー5 皮膚アレルギー疾患のかゆみマネジメント

座長：大日 輝記（香川大学）

LS5-1 蕁麻疹の評価ツールを活用した慢性特発性蕁麻疹の治療

葉山 惟大（日本大学）

LS5-2 アトピー性皮膚炎の痒みの制御と抗ヒスタミン薬の役割

田中 暁生（広島大学）

共催：大鵬薬品工業株式会社

14:10~15:40 シンポジウム

シンポジウム7（スポンサード）

かゆみがつなぐ神経と皮膚

座長：高森 建二（順天堂大学環境医学研究所/順天堂かゆみ研究センター）

浅井 俊弥（浅井皮膚科クリニック）

S7-1 IL-31 の産生と痒み伝達の分子基盤

福井 宣規（九州大学生体防御医学研究所免疫遺伝学分野）ほか

S7-2 痒みと脳-身体の異常状態を脳に伝える腕傍核システムの役割

加藤 総夫（東京慈恵会医科大学神経科学研究部/痛み脳科学センター）

S7-3 アトピー性皮膚炎の痒み

室田 浩之（長崎大学）

共催：マルホ株式会社

15:45~16:45 一般演題

薬疹3

座長：青山 裕美（川崎医科大学）

渡辺 秀晃（昭和大学）

116 インフリキシマブにより救命し得た血球減少を伴ったニボルマブ関連中毒性表皮壊死症

柳田のぞみ（広島大学/広島市立広島市民病院）ほか

117 アプレミラストが奏功したニボルマブによる乾癬様皮膚炎の1例

橋本 安希（佐賀大学）ほか

118 抗PD-1抗体投与後に発症した水疱性類天疱瘡の2例

森 ひとみ（獨協医科大学）ほか

119 TNF- α 阻害薬により誘発された水疱性多形紅斑の1例

竹内紗規子（慶應義塾大学）ほか

120 アダリムマブによる Paradoxical reaction を契機に、掌蹠膿疱症から発症した急性汎発性膿疱性乾癬の1例

早川 数馬（東京医科大学）ほか

121 非定型的な皮疹を呈した、インスリン製剤に含まれる硫酸プロタミンによる薬疹の1例

山村 里恵（徳島県立中央病院）ほか

17:45～18:45 イブニングセミナー

イブニングセミナー6 全身炎症としての乾癬とTNFの役割

座長：大久保ゆかり（東京医科大学）

山本 俊幸（福島県立医科大学）

ES6-1 全身性炎症疾患である乾癬の包括的治療：セルトリズマブ・ペゴルの役割を考える

鎌田 昌洋（帝京大学）

ES6-2 令和時代に期待したいPsAに対するTNF阻害薬の役割～RAに学ぶリウマチ専門医からみたBio製剤の選び方～

三崎 健太（北播磨総合医療センターリウマチ・膠原病内科/同リウマチ・膠原病センター）

共催：ユーシービージャパン株式会社